

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

台風10号の接近に伴い、 市内9か所の避難所を開設しました。

台風10号は、8月31日の未明から日中にかけて、近畿地方に接近するとの予報から、暴風や大雨を警戒し、早めの避難を促すため、前日30日午後5時に市内9箇所(公民館・コミュニティ会館7館、DMGMORIやまと郡山城ホール、市民交流館)を自主避難所として開設しました。避難者は公民館2か所で計2名でした。

——— 自分で行う台風への備え ———

台風10号は九州から日本列島をゆっくりと横断したため、近畿地方を通過する際は勢力が弱まり、大きな被害とはなりませんでしたが。しかし、当初は紀伊半島の西側を勢力を保ったまま北上する予報もあり、その場合は大きな災害発生の可能性があったのではないかと考えています。今一度、台風への備えについて考えてみたいと思います。

(1)家の外の備えについて

- ・窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。

(2)家の中の備えについて

- ・懐中電灯、携帯電話予備電源、救急薬品など非常用品を確認する。
- ・窓ガラスに飛散防止フィルムなどを貼ったり、ブラインドを下ろすなど
- ・断水に備えて飲料水や、浴槽に水を張るなど生活用水を確保する。

(3)避難場所の確認など

- ・学校や公民館など、避難場所への避難経路を確認しておく。
- ・普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。

(4)非常持ち出し品を準備しましょう

- ・リュックサック
- ・飲料水、乾パンなど、レトルト食品、缶詰、粉ミルク、哺乳ビンなど
- ・救急医薬品、常備薬、マスク、紙おむつ、生理用品
- ・現金(小銭も)、預金通帳など、印鑑、健康保険証など、身分証明書
- ・下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴
- ・ナイフ、缶切、鍋や水筒、懐中電灯、ラジオ、電池、ロープ、マッチやライター、使い捨てのカイロ、ティッシュなど、筆記用具、ゴミ袋

安全安心の城下まちづくり市民大会

10/10(木) 13:30 DMG MORI やまと郡山城ホール小ホール

講師に、京都大学大学院 地球環境学堂 准教授の

落合 知帆(おちあい ちほ)先生をお招きして、

『こんなこと初めて…災害常襲地から何を学ぶか』と題し、お話をいただきます！

落合先生は、地域の歴史や文化・伝統などから見えてくる災害対応の多様性に目を向けておられ、日常と災害時をつなげる研究をされています。大会は、どなたでも参加でき、入場無料・申込不要です。この機会に自然災害について一緒に考えてみましょう。

自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。災害対策課までご相談ください。

このニュースは、災害対策課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます。

大和郡山防災ニュース	🔍	検索
------------	---	----

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください。

大和郡山市消防団へようこそ	🔍	検索
---------------	---	----

発行人 市役所災害対策課